

各校の課題

・複式授業の進め方  
→効果的に  
行うには?

1 2年生 → 1年生  
伝え合う

テーマ

複式指導を効果的に行うには

学び合い・教え合い

学び方の手  
引きを作成  
・ひとり学び  
・とも学び

校内で共有

児童の作品等と  
学校として保管し、  
資料に使う。

全校による  
教科の進行(体音図)

発表の場を、  
工夫する。

復習プリント等  
時間を有効に使う  
各種辞典を  
利用して学ばせる。  
学習の予定を  
掲示。(学習見画)

家庭学習で...

予習・復習の  
力を付ける。

間接指導におお  
道具の活用

デジタル教材の  
活用

範読用CD  
の活用。

年間指導  
計画の見直し

内容によっては、  
同単元で行う。

校内で作成

・手引きを利用した  
授業研を行う。→よりよいものにしていく。

言語能力を

伸ばすには...

終わってしまう。  
(文字化が苦手)

会話力の育成

子どもの実態に応じた  
通字の書き方の工夫  
...  
学×か、学×か、学×か

手立てを検証  
する方法取組み

(2) G

子どもの実態に応じた  
研究テーマ

# テーマ | 校内研究の質の向上

意見交流の際、  
深まりが弱い

少人数の良さ?  
をいかす方法

## 校内研

モデルになる。  
(話す、授業をする)  
etc

## 刺激

他校との交流?  
テーマを同じく

小中一貫を生かした  
研修  
講師招へい

目指す児童像を  
具体的に示す。

重点課題の  
明確化

視点と明確に  
事後研の在り方  
に: 研究協議

## 全校でつなげていく

教職員間の  
仲介役

助け合える  
教師集団

授業のスタート  
安らぎから音読

図書館教育読者  
指導の充実

「カブタ」  
...

複式  
学習リーダーを中心に  
に進め方

くみ  
...

複式学級の指導案  
の書き方、授業の進め  
方、リーダー育成

単：授 夏 夏 事前研から講師  
日 指 意 研 招聘研をする

統一  
シート

各校の課題

テーマ

複式の授業を充実させるための活用

活用

7. ~~複式~~ リーダー育成  
打ち合わせ

2. 話し合い活動

3. 話す・聞くスキルの  
育成

全員、何かの  
リーダーとして

ペア学習  
二人組での話し合い

聞く方、話し方の  
マニュアル

輪番制で行い  
全員かできるように  
する

分かっている子が、  
まわりの子に説明  
する

新しい  
学習規律

まずは、進行  
マニュアル

内容  
の  
成  
会の仕方の  
順を示し、それ  
とに慣れさせる

年間計画の  
見直し

そのために

各マニュアルは教室  
に掲示し、学期末、  
年度末にふり返る

共通理解  
講師招聘研修  
を行う。

研修会への  
参加

子どもと先生の  
関係づくり

授業を17回行う

自学の取組  
 のための計画  
 家庭学習の共通・継続性  
 系統だった目標  
 スモール  
 ステップ

教員の意識改革  
 自主学習(家庭)の進め方  
 向上

力の向上  
 力の学習  
 〇〇小  
 スタンド

水曜日の  
 職員会の時間内有効活用  
 一定の座席  
 管理取を  
 まよひ

視点と  
 本である

テーマ

〇〇小スタンドを作成  
 する

総合的  
 A



情報収集

情報集め  
 事務局・秋田ノト

研究テーマとの  
 整合性  
 +  
 自校の課題  
 自校の必要性に  
 合.たものを

共通理解  
 学校独自

教師の意志統一を  
 必ず図る。  
 教員同士で共通理解  
 を図る。

Link

校内研究につながる  
 スタンド

発展

全教材につながる  
 スタンド

実践

継続すること。

子どもにも  
 わかるように配布?

評価

授業研で スタンド  
 が生かされているか 評  
 価していく。  
 見直しを  
 定期的にする

レディカのふれんの  
自主学習への  
取り組み

コンバーカル  
デザインの  
学習の取り組み

研究計画を  
シラバス

研修後  
改善の取組み  
の  
見直し

各校の課題  
② 欠乏  
時間的

効果的なノート  
自主ノート作成  
への意識づけ

間の研究に  
温度差①

研究等早期の計画  
どんな力をつけるか  
と明確にした単元毎  
の授業の作成  
(各学年)  
をはかる

研究  
の  
研究  
に  
立  
ち  
に  
立  
て  
る

指導計画  
(シラバス)  
作成

# テーマ 授業改善について

基本シラバス作成

現在の児童の  
実態把握

実態把握  
から  
設定  
面を

必要な力を  
発達段階毎に  
分析

教材に当てはめ  
つけたい力をどうや  
つけるか単元構想を  
立てる

全教材に当て  
シラバス作成  
(学年実態をいかに  
のかを明確にする)

シラバスにの  
とつ  
授業を行う

教師の授業力の  
向上

教師が用いる言葉  
見直し?

教師の価値観を  
行

効果的  
使い方

どの学年でも持つ  
教師→系統性  
の理解

効果的  
指導方法  
初め的好奇心を刺激  
する授業を  
(生徒側)

効果的  
指導方法  
集める

理由を系統的に  
述べるように  
授業づくり

目的や集団に  
自分の考えを効果的  
に伝える場の設定

指導の問題意識  
持て取り組む

## 授業研究について

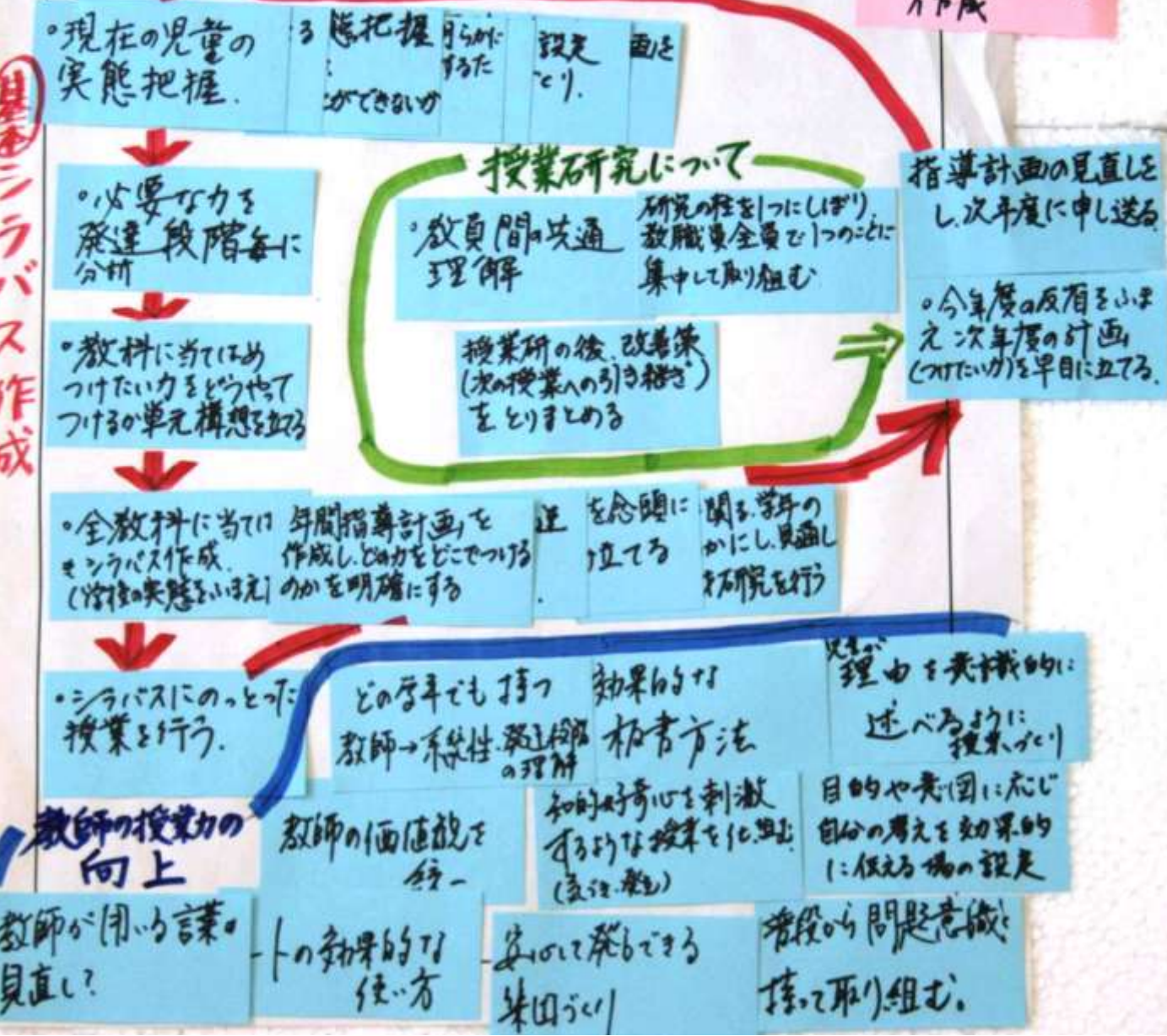
教員間  
理解

研究の柱を  
教職安全を  
集中して取り組む

授業研の後、改善策  
(次の授業への引き継ぎ)  
をとりまとめる

指導計画の見直し  
し、次年度に申し送る

今年度の反省を  
え、次年度の計画  
(シラバス)を  
早めに立てる



各校の課題	文章化 言語力	読む力 書く力 表現力 書く力の年間計画	聞く 聴くこと
-------	------------	----------------------------	---------

# テーマ 言語力向上を図るためには

家庭学習定着  
のアプローチ実施

自主学習の内容  
充実と啓発

家庭学習について  
アンケート・集計  
→ 家庭へ返す

三行日記等の推  
奨的取り組み

配布  
アンケート  
↓  
分析  
↓  
家庭へ

授業改善

下しをとり、自分の発  
問について振り返る。

どの授業で、どの力を  
つけたいか明確にす  
る。

系統的な書く  
指導 (時間設定、  
内容)

言語活動が意  
義

視写  
→ 下しをとり、返すだけ。

学習集団づくりの  
研究

授業のふり返りを  
文章で (評価)

帯タイムの活用  
(計画的に)

チャレンジタイム  
丸つけ支援 (地域等)

研究授業の本時  
の目標にテーマを入  
れる。

肯定評価によ  
るまなざしの共有

その他

多読のすすめ  
(いろいろな分野の本を)

読書活動の充実  
(親子読書、読み聞かせ)  
10分読書、調べ学習等

学テ・単元テスト  
国シートの活用

単元テストを早い段階  
からとり入れる。

分析 → 全体で  
共有

全校で  
統一した話型  
書き方

系統表を作成  
↓  
共有

「研究の手引き」を作成  
 家庭学習の取り組み  
 授業研の時間確保  
 教師全員の意識改革  
 指導力向上

音読指導全校の  
 授業課題(国語)  
 支援の必要児童  
 へのサポートシステム  
 作成

体系的な指導  
 小中の連携  
 指導力アップ・校内研  
 のあり方・ポイントを  
 交流

テーマ **組織力アップで学力向上**

校内研の  
 手引きの作成

支援の必要な  
 児童への  
 サポートシステム

図3  
 には

改善 共通理解

指導方法の統一  
 授業力アップ  
 (学び方)定着  
 家庭学習  
 の充実(手引き)



体系的な指導



小中連携

国語に対する語力を  
 他の教科でも生かす  
 自分の考えを自分の言葉で  
 表現する(他教科でも)

「話す」「聞く」の弱さ  
 教育活動全体で  
 身につけさせたい

「はなまる日記」の書きせ方  
 (算数)の工夫

「はなまる日記」にどう書か  
 せたいのか具体的に  
 明記

「聞く・話す」力を伸ばす  
 ために  
 ・メモを取る練習  
 ・DVDなどを活用

異学年での読書活動  
 (PAP読書)

板書の確認  
 構造的な点はあるか  
 シンプルな点はあるか

全校研・研究の主力科  
 70%70%研(いろいろな  
 教科で)

年度途中の研究の修正は必ずしも必要ない  
研究指針は体罰に代るた  
言語活動と意識した授業を日々行うよう……

教科の研究の充実  
学力向上  
of: hoo

性  
難権  
のサポート  
に合わせた

学び合い

級経営  
(児童理解)

識改革  
共通理解)

テーマ 学力向上のために

児童を知る ↔ 授業力向上 ↔ 学級経営

実態把握  
数値  
傾向

授業の充実  
自力解決 話し合  
の時間確保

学級経営の核い学  
級への支援

自力解決できる  
サポート

授業公開(お互いの  
授業を見せ合う)

意図的な学びの  
できる環境づくり  
"学びたい"と思わせる  
教師の仕掛け

指導者同士の  
共通理解の徹底  
(先実)

落ち着いた学習  
学級づくり

実践とふり返りの  
共有

家庭学習  
習慣化

加力指導の時間の  
確保するためのカリキュ  
ラム

家庭学習の習慣化  
につながる授業

指導  
与え方  
(目標)

活用能力を身につける  
ための手立て

課題を1教師  
言合える集団  
(同じ合える集団)

授業を全校研  
究にしよう

カサの課題

テーマ 得点アップをめざして!!

テストの  
スキル指導

学力として目に見える  
日常的な取組

全学年の先生が  
B問題と念頭  
においた指導  
B問題を  
全教員で体験

結果の共有

5年担任への  
意識づけ  
5年担任の  
研究会参加

系統性を意識した  
指導(ついでに力)



各校の課題

基礎学力の向上を目指すための  
生活習慣の指導  
家庭学習の定着

小学校段階から  
宿題・自主学習の  
定着をはかる  
（学習の習慣）  
（自分の気づき・考え・定着  
のわかるノート作り）

学力の育成  
基礎学力の定着  
自発的に学ぶ姿勢  
の育成

テーマ 学力のさらなる向上をはかるためには

組織として

小・中教員が話し  
合う場の設定  
授業研究を見る時  
共通のテーマ・視点  
を定める。→共有化  
（授業の見方の工夫）

研究授業の研究  
協議の形態の工夫  
（活版化・共有化）

学力定着のための  
共通理解を図る  
教科を越えた指導  
案の検討  
（事前研の実施）

学テ・標準学力調査  
等の丁寧な分析、  
それをもとに教科を越  
えて検証。

表現力

少人数で、言わなくても  
分かってしまうが、きちと  
話しをさせるように日誌  
や授業で気を付けていく。

考える場面の設定  
（書かせ・指導）

フューンション力の  
育成  
自分の考え 根拠を明  
かにして述べる力の育成  
（共通理解）

少人数ゆえの  
意見交流を深める  
工夫

教員のか量(資質)

なぜ そう思うの？など  
の問いを習慣化し  
根拠を明らかにする話  
方を意識させる。

課題を共通認識  
する場の設定

学習形態の工夫  
発表のしかた {明示  
聞き方} する  
↓ 掲示等

一人ひとりに  
応じた授業づくり

教科担当にゆだねら  
れている面が多いので  
同じ方向性を持つ。

反応のしかた {明示  
質問のしかた}  
聞き方のレベルUP

家庭との連携

家庭学習の内容の  
見直し

家庭学習を充実  
させる(内容)

各校の課題

授業研究の質の向上  
授業づくりへの工夫  
1時間の有効性  
めあてと  
ほりかえり。

研究テーマの共通理解  
系統的な  
受身的な生徒

研究協議のしおり  
相互の明確化  
授業研究後の検討会  
支援と要する生徒  
総合と日常の  
(行事) 行事の日常化。  
つなげること。

校の課題

テーマ

学習意欲を高める授業作り。

家庭学習の  
質的向上時として

テーマ

ポイントのわかる  
ものを明確に!

1時間の達成  
目標の提示  
目標設定を明確  
にする。

個人レベルで異なる  
課題の設定した  
授業づくり。

板書の工夫  
(黒板に書く)

授業の緊張  
感のメリハリ。

貢献感・達成感の  
授業の中に設定

解けた  
充実感。  
わがが得意で  
感じる。

主体性を促す。  
(語い水)

生徒の声をとりこ  
めたい。  
なぜ、その理由の  
も大事にする。

発言発表を  
つなぐ  
1つの意見、1人の  
意見と大事にする

エラーを肯定的に  
とらえ、評価する

評価の研究  
競うけ→勇気出す

評価

宿題で考えてきた  
(時間とだけではない)  
ことの評価の受けかえ

ふりかえり

日常生活とのリンク

全員が興味を持  
って取り組める授業  
づくり

教師の工夫

友だちとの  
かかわり

先生と生徒  
生徒と生徒  
信頼づくり

安心して安全な環境  
づくりを心がける。

時間・空間・行動  
認知・感情の枠  
をいかに  
いかに生徒へ  
の心配り。(声かけ)

学級の雰囲気  
づくり

答えをすぐに  
言わない

何でわかるんか?  
↓  
何でわかるんか?

教え場学習  
の場の設定

ともに学びあう。  
教しあう。教してあ  
らう。

生徒のうしろ意  
をたたくわけ。答え  
を出していく。

各校の課題	研究授業の課題と次にかす工夫	校内研での授業後の協議の仕方の改善
	生徒観察の視点、授業の見方を考える	

テーマ **明日につながる校内研修にするために**

**日々の実践に向けて**

**事前に**

模倣授業 指導案検討  
 授業者が改善すべき自己課題、工夫した点に教員が把握!

**研究授業**

モデル授業 教科の枠をこえて活かせること (授業を見る視点として)

**研究協議**

教科領域で 全員が一回  
 確認したことを目に見える所に貼る  
 授業を見る視点を明確にしておく  
 まとめたことを次の日に

**日々の授業**

子ども自身にアンテナを子どもに返す 反省を生かす

① 子ども自身に本時の目標を明確に見つけさせる  
 ②

全校授業研

授業研(校内研)の負担の多忙さ

進め方 視点・観点を話し時間の減少 (1/2) G

各校の課題

家庭学習の定着と  
質的向上

効果的な  
グループ活動

ICT活用の  
研修

テーマ

研究  
が  
主

研究・研修の組  
み  
方

4月に行う  
こと

特別支援教育

校務分掌内容の  
明確化と理解

研究計画に  
校内研部会事  
入る。

コ  
能  
力  
： コミュニケーション  
能力 (表現力)  
・伝え方